

意見書を提出しました

(要旨)

議決された意見書は、関係機関に送付しました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

京都議定書に基づき、森林整備事業や治山事業など山村における雇用の確保、更に「森林整備加速化・林業再生対策」の恒久化と財源確保を求める。

地方財政の充実・強化を求める意見書

税制変更により社会保障や子育て支援、福祉・介護制度などが小規模自治体にしわ寄せが来ないよう配慮した段階補正等の対策を求める。

義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

義務教育費国庫負担法の改正により北海道は地理的な観点から教育水準の低下が憂慮されている。教職員定数の拡充や災害時の避難場所として機能する校舎改修費など義務教育予算の確保、拡充を求める。

介護報酬の見直し等に関する意見書

北海道においては過疎地や遠隔地が多く、従事者の処遇が低いために介護サービスが十分に提供されていない。介護報酬の見直しやサービス利用に必要な策を講ずることを求める。

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書

地方創生において各府省の役割分担の明確化と

財源を5年以上確保し、人件費やハード事業など使い易い交付金とすることを求める。

ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

地方においてもICT技術の活用により都市圏のような就労環境を創り出し、活性化を図る必要がある。そのためにWi-Fi環境の充実、テレワーク関連の税制優遇の周知などを求める。

議長室からこんにちは

12月に入りました。師走とは季節(四季)が終わる。春夏秋冬が果てる意味の「しはつ」がなまって「しわす」になったのだそうです。これは四季の終わり、つまり季節が終わるという意味でもあり、特に12月13日は正月を迎える準備を始める日で、昔はこの日に門松やお雑煮を炊くための薪など、お正月に必要な木を山へ取りに行く習慣があったと季節の辞典にあります。



ニセコひらふへの世界からの投資等は、目を見張るものがあります。しかし、町民の身近な生活がどれほど豊かになったのか疑問に感じるところが多くあります。建設中の学校給食センター(12億7千万円)を始め2018年完成予定の俱知安保育所(10億円)など多くのプロジェクトを進行中ですが、過疎債など交付税措置のない俱知安町にとつては財源確保も難しいところがあります。

年末の挨拶には少し早いですが、本年一年、俱知安町議会は皆様に大変お世話になりました。6名の新人議員を迎えての俱知安町議会は改革と飛躍の大きなスタートを切りました。常任委員会はもとより議会活性化、統合保育所、自衛隊駐屯地、広報などの特別委員会を設置して各分野にわたる議論を積極的に展開をしています。また、2026年の札幌冬季オリンピック開催、併せて高規格道路の俱知安インターチェンジ・北海道新幹線開業を見据えた、俱知安のまちづくりをどのように進めるのか、根本の基本的なコンセプトについても早急に多くの町民の皆さんの声を聴きながら進めることも議会の大切な仕事であります。

町民の皆様の声を大切にしながら丁寧な議論を進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

俱知安町議会議長 鈴木保昭